

国語

の
力

確認テスト



5年

国語の 力確認 テスト

テスト

1 物語 1

登場人物をとらえる

別冊「解答」P.2でチェックしよう。

1 漢字

線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① 病院で検査を受ける。 ()
- ② 往復きつぷを買う。 ()
- ③ 弟とぼくは似ている。 ()

▼ () 内の漢字は、アとイのどちらが正しいか、記号で答えなさい。

- ④ このめい路は (ア 複雑 イ 復雑) だ。 ()
- ⑤ (ア 険しい イ 検しい) 山道だった。 ()

5

3 言葉のきまり

▼ 次の文の主語と述語を、それぞれ記号で答えなさい。

- ① ボールが 坂道を 転がる。
ア () イ () ウ ()
- ② 遠くから きれいな ピアノの 音が 聞こえる。
ア () イ () ウ ()

▼ 線の言葉に対する述語を、記号で答えなさい。

- ③ わたしの クラスの 先生は 一人ひとりに 手紙を 出された。
ア () イ () ウ ()

3

2 語句

▼ () にあてはまる言葉をあとから選んで、記号で答えなさい。

- ① () () 色 () ② () () 一日
- ③ () () 顔 () ④ () () 事件
- ⑤ () () 成長

ア あどけない
ウ あわたましい
オ あざやかな

イ いちじるしい
エ いたましい

▼ 「いさぎよい」の使い方として正しいものの記号を答えなさい。

- ア いさぎよい学校だ。
- イ いさぎよくあきらめる。
- ウ いさぎよく意地を張る。
- エ いさぎよい雨がふる。

6

4 読解

▼ 次の文章は、勇三おじさんと無人島に行ったときのものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

なんとか五回の往復で荷あげの仕事が終わり、漁船はさつきまでいたザマミ島にもどっていった。ザマミ島では昨夜、勇三おじさんの知り合いの民宿に一泊した。テレビもあったし、おふるもあったし、夜は花火もできたけれど、今日は無人島だから、電気もないのだ。

「あの船がむかえに来なかつたら、ぼくたちはどうなるのかな。」
小さくなっていく船を見送りながら、守がいくらか心細げに言った。
「ロビンソン＝クルーソーになればいいじゃないか。さあ、おじさん、テントを張ろうよ。」
浩が元氣よく言った。

「ヤドカリ探検隊」 椎名誠

- ① 文中で会話しているのは、だれとだれですか。 () ()
- ② 勇三おじさんはどこにいますか。記号で答えなさい。
ア ザマミ島 イ 無人島 ウ 漁船 () ()
- ③ 線の「おじさん」とは、だれのことですか。記号で答えなさい。
ア 勇三おじさん イ 漁師のおじさん () ()
ウ 民宿のおじさん

国語の 力 確認 テスト

シート

1 物語①

1-1

漢字シート

1 漢字

(1) 次の漢字の部首名をあとから選んで、記号で答えなさい。また、総画数を数字で答えなさい。

- ① 絶 部首名 () 総画数 ()
- ② 検 部首名 () 総画数 ()
- ③ 複 部首名 () 総画数 ()
- ④ 復 部首名 () 総画数 ()
- ⑤ 似 部首名 () 総画数 ()
- ⑥ 雑 部首名 () 総画数 ()

部首名
ア ふるとり
ウ ころもへん
オ ぎょうにんべん
イ いとへん
エ きへん
カ にんべん

※総画数をまちがった漢字は、教科書の巻末を見て、必ず筆順練習をしておきましょう。

(2) 次の漢字の音読みと訓読みを書きなさい。

- ① 険 訓 音 () ()
 () ()
- ② 混 訓 音 () ()
 () ()
- ③ 張 訓 音 () ()
 () ()
- ④ 寄 訓 音 () ()
 () ()

(3) () にあてはまる漢字をそれぞれあとから選んで、正しいじゅく語を作りなさい。

- ① 絶体 () 命
- ② 右 () 左往
- ③ () 合
- ④ 内 ()
- ⑤ 正 ()
- ⑥ 停 () 所
- ⑦ 点 ()
- ⑧ 出 ()
- ⑨ 混 ()
- ⑩ 調 ()
- 〔絶 混 往 容 常〕
- 〔検 留 雑 張 査〕

(4) 線の漢字が正しければ○を、まちがってれば正しい漢字を書きなさい。

- ① 学校の帰りに奇り道をする。 ()
- ② 絶対|に約束を守る。 ()
- ③ ぼくらは以|た者どうしだ。 ()
- ④ 新しい家|に往む。 ()
- ⑤ 算数の複|習をする。 ()

(5) 次の文中にはまちがった漢字が一字ずつ入っています。それを見つけて正しい漢字に直しなさい。

- ① 上識的なことを言う。 () ↓ ()
- ② 水そうの要量をはかる。 () ↓ ()
- ③ し力| 険査を受ける。 () ↓ ()
- ④ 海外に流学する。 () ↓ ()
- ⑤ 人口調差が行われる。 () ↓ ()

国語の 力 確認 テスト

1

物語① 1-2 語句シート

2 語句

(1) 次の言葉はどんなときに使いますか。あとから選んで、記号で答えなさい。

- ① あっけない () ② あどけない ()
- ③ あわただしい () ④ いたましい ()
- ⑤ いまましい () ⑥ いまわしい ()

ア 自分が死ぬ不吉な夢を見たとき。

イ お父さんがとつ然の出張で、あれやこれやばたばたといそがしくしているとき。

ウ アニメーションがすぐに終わってしまったとき。

エ だれかの失敗を自分のせいにされたとき。

オ 三才くらいのかわいらしい子の寝顔を見たとき。

カ 地震で町がぐずれ、多くの人がひなん所生活をしているのを見たとき。

(2) 次の言葉の意味として正しいものを、それぞれ「」内から選んで、記号で答えなさい。

① あざやか ()

ア 赤々と燃える様子。 イ まぶしい様子。
ウ 美しくはつきりしている様子。

② いさぎよい ()

ア 思い切りがよい。 イ がまん強い。
ウ おこりっぽい。

③ いちじるしい ()

ア 数が多い。 イ はつきりと目立っている。
ウ 一つひとつちがつている。

(3) 「あかるい」の意味にあてはまらないものを、次から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 光が差して、物がよく見える。

イ 色がうすい。

ウ 公明正大である。

エ ほがらかな性格である。

(4) () 内の言葉の使い方は、アとイのどちらが正しいか、記号で答えなさい。

- ① (ア) あっけない イ あざやかな さいて 最期。 ()
- ② (ア) いまわしい イ いさぎよい 事件。 ()
- ③ (ア) いちじるしい イ あかるい 朝の光。 ()
- ④ (ア) いさぎよい イ いちじるしい 進歩。 ()
- ⑤ (ア) あわただしい イ あどけない 生活。 ()

(5) 線の言葉の使い方が正しいものには○、まちがっているものには×をつけなさい。

- ① あかるい 選挙をよびかける。 ()
- ② あざやかな 意見がたくさん出た。 ()
- ③ 試合であっけなく 負けた。 ()
- ④ 少年の顔にはあどけなさが残る。 ()
- ⑤ かれはいさぎよく あやまった。 ()
- ⑥ その政治家はいちじるしい 人物だ。 ()
- ⑦ 兄はいまましい 色が好きだ。 ()

(6) 次の言葉とよく似た意味を持つものを、あとから選んで、記号で答えなさい。

- ① あどけない () ② あわただしい ()
- ③ いさぎよい () ④ いちじるしい ()
- ⑤ いたましい () ()

ア はつきり イ せわしい ウ あわれ
エ 正々堂々 オ 無じゃ気

(7) 「いまましい」という言葉を使って、短文を作りなさい。(主語と述語を必ず入れること。)

国語の 力 確認 テスト

1

物語 ①

1-3

言葉のきまりシート

3 言葉のきまり

(1) 次の文から主語をぬき出し、記号で答えなさい。

- ① かれは いさぎよい 人だ。
- ② いまわしい 事件が 起こった。
- ③ 今日は 朝から 雨が ふっている。
- ④ 昨日の 夕方に 校庭で わたしは にじを 見つけた。
- ⑤ うちの 庭の 朝顔は 毎朝 たくさん 花をつける。

- ⑤ となりの ねこが、ニヤーニヤーと 鳴きながら ぼくの 家に 遊びに 来た。

(4) 線の言葉に対する主語を、記号で答えなさい。

- ① 魚が 大きく はねた。
- ② 犬に ぼえられて、 ぼくは いまいますく 思った。
- ③ 兄は 本を とじ、 ノートを 開いた。
- ④ 赤んぼうの 顔は あどけなくて かわいいと、 姉は 言う。
- ⑤ おじいさんは 山へ しばかりに 行き、 おばあさんは 川へ せんとくに 行った。

(2) 次の文から述語をぬき出し、記号で答えなさい。

- ① 空が 明るい。
- ② 妹が あわただしく 出かけた。
- ③ ぼくと 友だちは いっしょに 泳いだ。
- ④ 近くの はまべには あざやかな もようの 貝が たくさん ある。
- ⑤ やつと 来たぞ、 バスが。

(5) () にあてはまる主語をあとから選んで、記号で答えなさい。

- ① () 笑った。
- ② () ふり始める。
- ③ 大きな () 建った。
- ④ () へる。
- ⑤ () 遠くで鳴る。

(3) 線の言葉に対する述語を、記号で答えなさい。

- ① 弟の 作った 紙飛行機は あっけなく 落ちた。
- ② 花が さき、 鳥が さえずった。
- ③ ピアノの 音は やみ、 バイオリンの 音が 流れた。
- ④ 明日の 朝食に ぼくたちは とれたての トマトを 食べる。

(6) () にあてはまる述語をあとから選んで、記号で答えなさい。

- ① 犬が ()。
- ② 少女が英語を ()。
- ③ まりが坂道を ()。
- ④ 走っていた少年が ()。
- ⑤ サイレンが ()。

国語の 力確認 テスト

1

物語①

14

読解シート

4 読解

▼文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひと休みした後、勇三おじさんは、波の打ち寄せる岩場の内側に広がるタイドプールへ二人を連れていった。岩しようの中に、自然のプールのように水がたまっている安全な所だ。三人が近づいていくと、小さな魚やカニたちがいっせいに動くのが分かった。

②「あの魚はきつとギンポだな。フジツボやカメノテで手や足を切らないようにしろよ。」

勇三おじさんは、この辺りの海のことならなんでも知っているようだった。このタイドプールには、いたる所に小さな貝がいて、小エビが後ろとびに走ったり、イソギンチャクがおどるように身をゆらししていたりして、
③ だけでもあきなかつた。

「ヤドカリ探検隊」 椎名誠

(1) 「タイドプール」はどんな所ですか。

(2) 線①に「分かった」とあるが、どんなことが分かったのですか。

(3) 線②は、だれが言った言葉ですか。

(4) ③にあてはまる言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 見ている イ 知っている
ウ 話している エ 聞いている ()
(5) この文章の風景から受ける感じを色で表すとすれば、何色がふさわしいでしょう。記号で答えなさい。

ア 赤 イ 緑 ウ 青 エ 黄色 ()
またそれは、文中のどのような言葉から感じましたか。一つぬき出しなさい。
()

▼文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

守は、岩の下で、また大きなヤドカリを見つけ、まき貝の中でじつと手足をちぢめているのを、おもしろがってながめていた。じつとして見ていると、辺りの様子をうかがうように手足をじわじわ出してくる。守は、ヤドカリにも顔があるのを知ってうれしくなった。

「さあ、そろそろ夕食のしたくだ。」

いつの間にかやって来たのか、浩と守の後ろで、勇三おじさんのでつかい声がした。

まだ昼のように明るかったけれど、五時になると、早くも夕食のしたくを始めなければならない。浩と守は、夜のキャンププーファイア用の流木拾いをしてから、ほらあなの岩のすき間から流れ出ている水をポリタンクに入れ、二人して休み休み運んだ。

「ヤドカリ探検隊」 椎名誠

(6) 線は、何の様子ですか。記号で答えなさい。

ア 守 イ 浩 ウ ヤドカリ エ 勇三おじさん ()
(7) 守は、ヤドカリをどんな場所で見つけましたか。記号で答えなさい。

ア ほらあなの岩のすき間 ()
イ 岩の下 ウ 岩のかけ ()
(8) この場面はいつごろのことですか。次から選び、記号で答えなさい。

ア 朝 イ 昼 ウ 夕方 エ 夜 ()
(9) 浩と守は、夕食のしたくのためにどんなことをしましたか。

(10) この文章の前半にあらわれているふん囲気は、次のどれでしょう。記号で答えなさい。

ア 重々しき イ 楽しき ()
ウ いそがしき エ つらさ ()
またそのふん囲気は、文中のどのような言葉から感じましたか。一つぬき出しなさい。
()